

2007年3月期 第1四半期決算説明会



2006年7月27日

株式会社デンソー

DENSO

2007年3月期 第1四半期 決算のポイント

1

1. 売上高 +13.6%の増収で過去最高

2. 営業利益 +16.0%の増益で過去最高

3. 為替・素材費などの変動要素あり、上期・年間とも、期首予想を据え置き

2007年3月期 第1四半期 連結決算

2

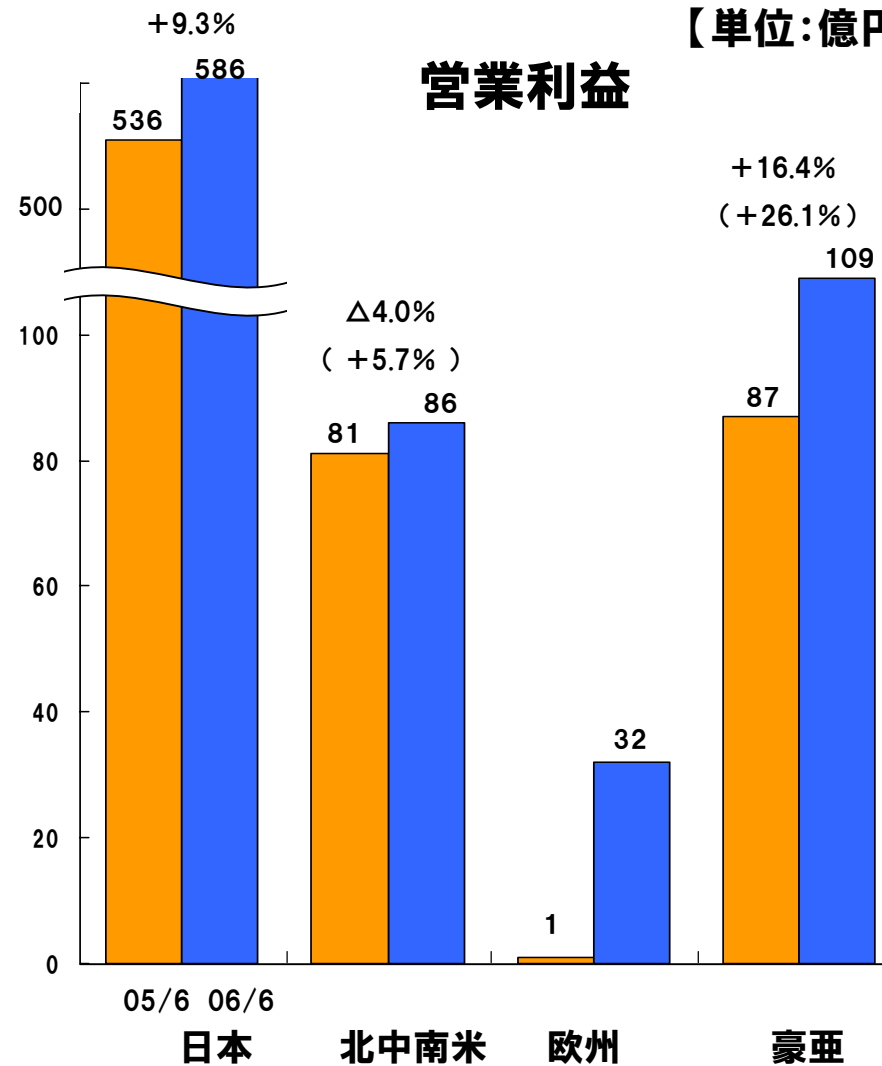
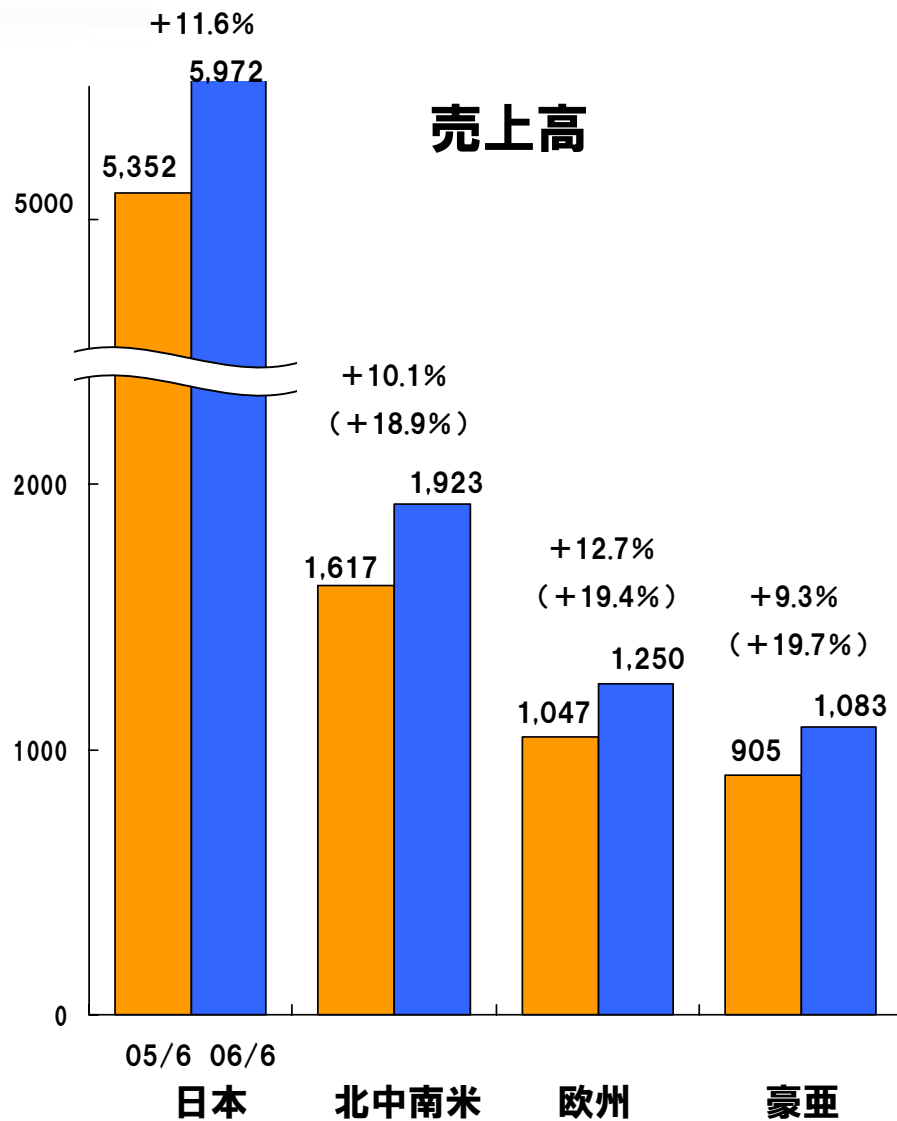
【単位：億円】

	06/6	05/6	増減額	増減率
売上高	8,562	7,534	+1,028	+13.6%
営業利益	825	712	+114	+16.0%
経常利益	902	770	+132	+17.1%
税前利益	899	658	+241	+36.6%
当期利益	585	360	+225	+62.5%
為替レート	114円/ドル 144円/ユーロ	107円/ドル 134円/ユーロ	7円 円安 10円 円安	
国内車両生産 (うちトヨタ)	272万台 (100万台)	261万台 (92万台)	+11万台 (+8万台)	+ 4% (+ 8%)
海外日系車生産 (うちトヨタ)	273万台 (104万台)	272万台 (94万台)	+1万台 (+10万台)	+0% (+ 11%)

所在地別セグメント

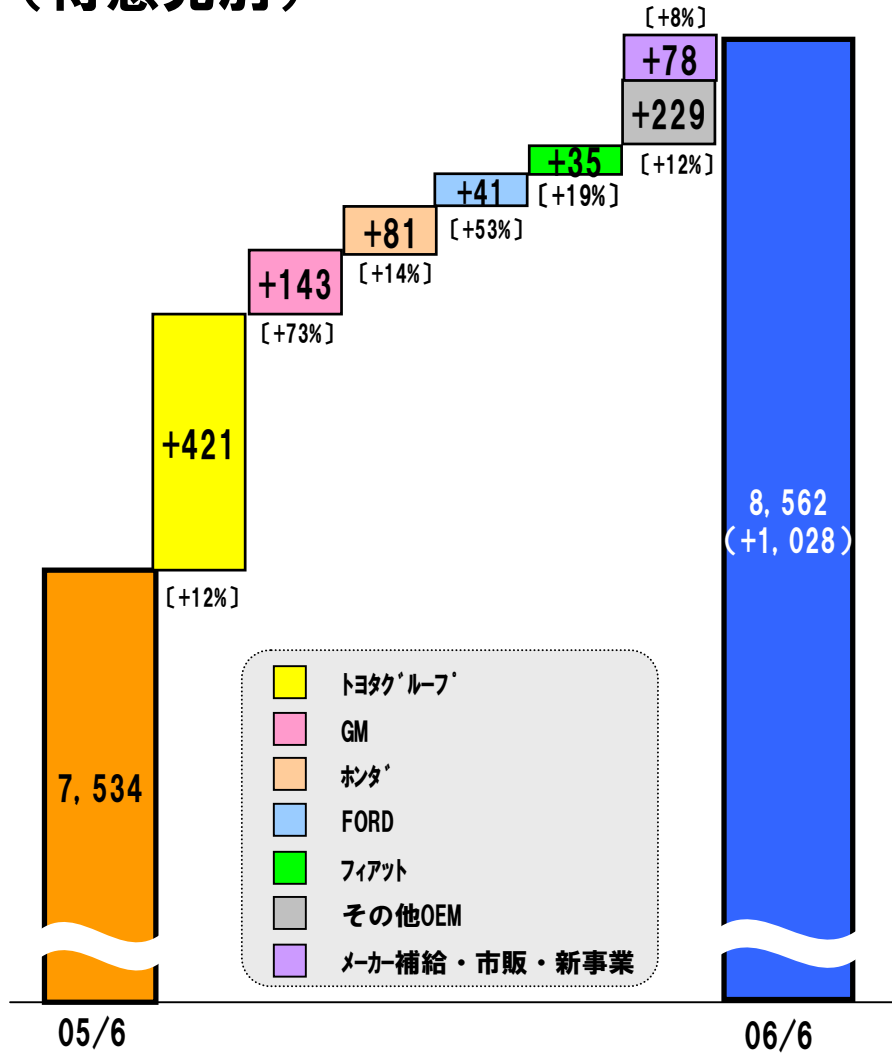
※ 伸び率は現地通貨ベースで表示。()は為替の影響を含めたベース。

【単位:億円】

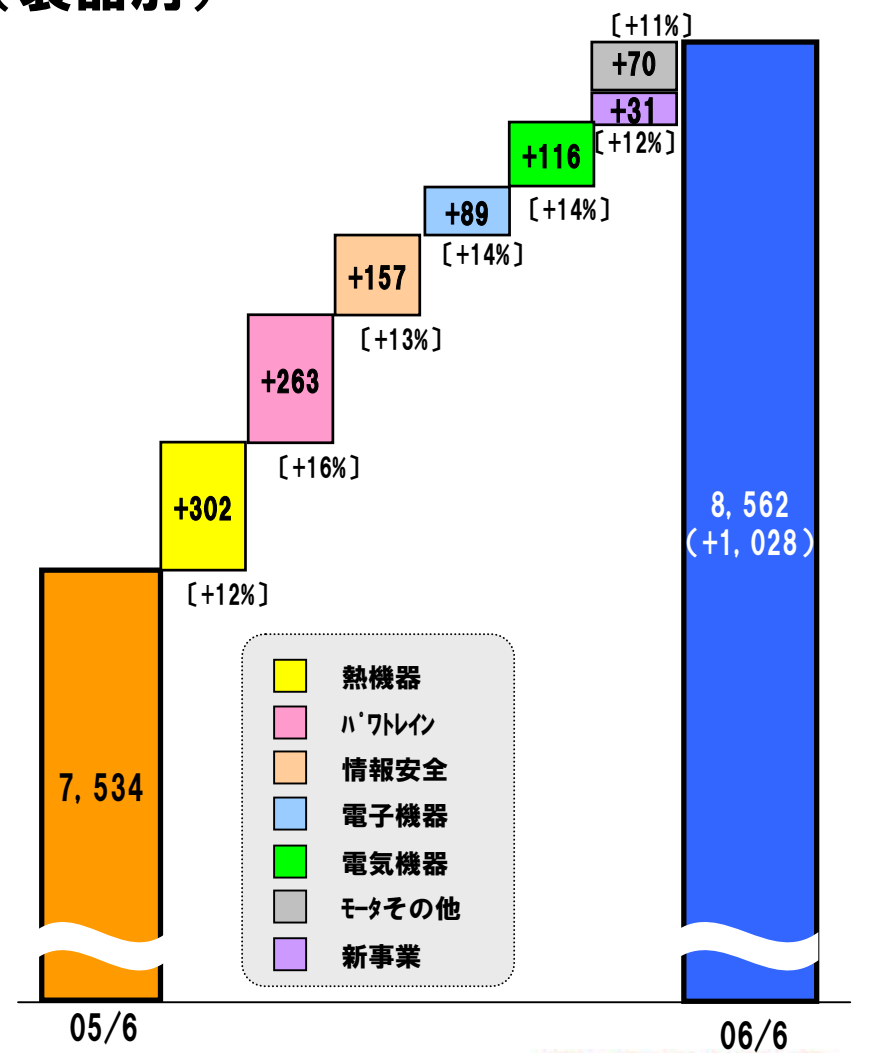


連結売上高増減要因(得意先別/製品別)

(得意先別)

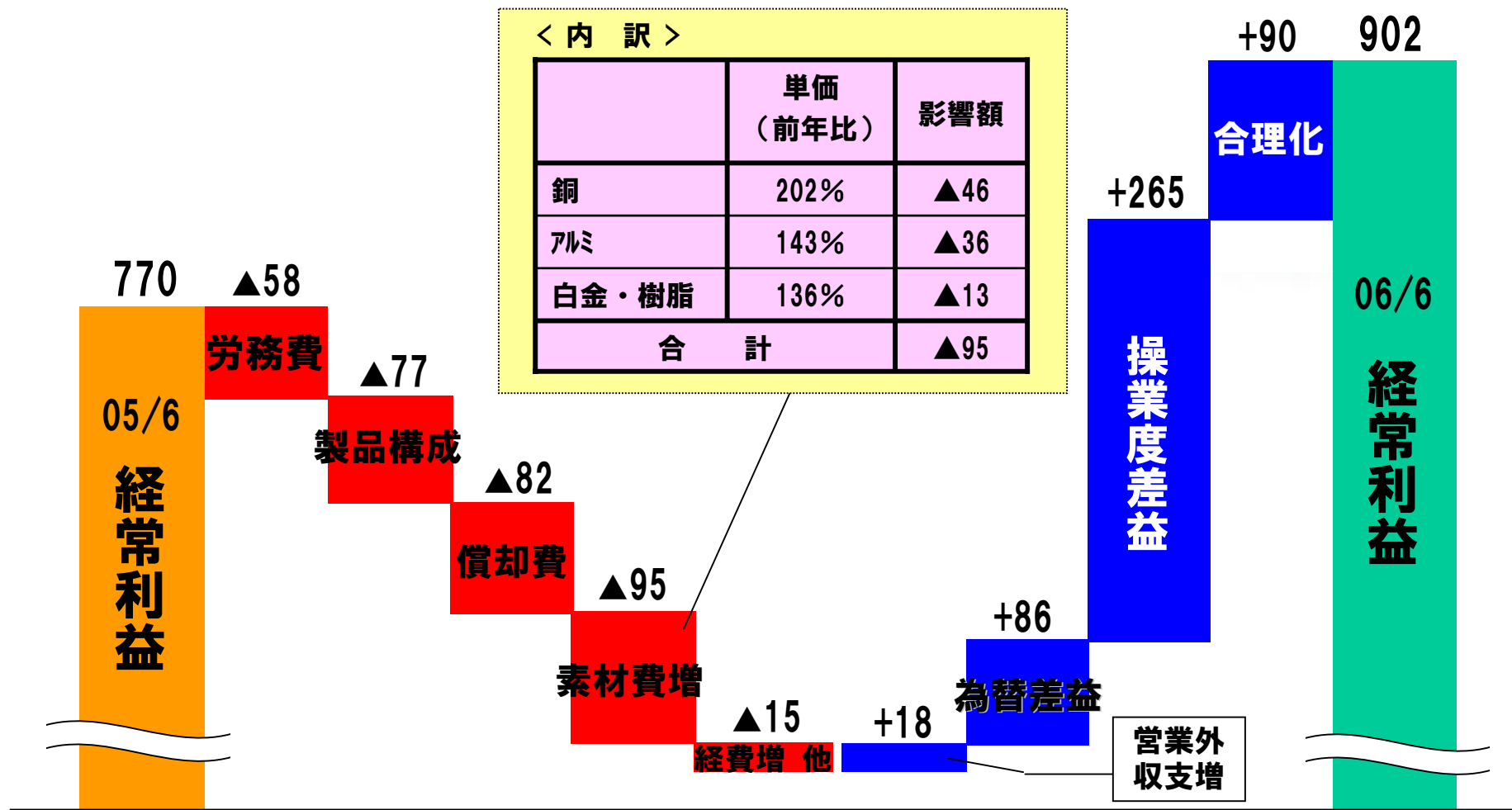


(製品別)



經常利益增減要因(05/6→06/6)

【單位：億圓】



設備投資・償却費・研究開発費

【単位:億円】

		06/3		07/3		06/6	
		05/6		06/6	予想	前年比	進捗率
設備投資	日本	369	2,020	407	2,265	+10.2%	18.0%
	北中南米	57	316	89	420	+57.4%	21.3%
	欧州	73	236	37	215	▲49.7%	17.1%
	豪亜	71	315	91	370	+28.6%	24.5%
	合計	570	2,887	624	3,270	+9.5%	19.1%
償却費	日本	287	1,286	348	1,515	+21.1%	23.0%
	北中南米	52	222	57	240	+9.3%	23.6%
	欧州	45	183	50	195	+11.7%	25.5%
	豪亜	35	161	47	195	+32.6%	23.9%
	合計	419	1,851	501	2,145	+19.6%	23.3%
研究開発費 (売上高比)		556 (7.4%)	2,563 (8.0%)	618 (7.2%)	2,720 (8.0%)	+11.1%	22.7%

2007年3月期 上期・年間 所在地別予想

期首の公表予想から、変更ありません。

【単位：億円】

	06/9予	05/9	増減率	07/3予	06/3	増減率					
売上高	日本	11,720	10,812	+8.4%	24,310	22,890	+6.2%				
	北中南米	3,420	3,271	+4.6%	6,960	6,904	+0.8%				
	欧州	2,160	1,964	+10.0%	4,470	4,230	+5.7%				
	豪亜	2,150	1,836	+17.1%	4,510	3,951	+14.1%				
	消去	▲3,100	▲2,817	-	▲6,450	▲6,092	-				
	合計	16,350	15,066	+8.5%	33,800	31,883	+6.0%				
営業利益	日本	970	8.3%	921	8.5%	+5.3%	2,140	8.8%	2,077	9.1%	+3.1%
	北中南米	125	3.6%	118	3.6%	+5.6%	255	3.7%	219	3.2%	+16.6%
	欧州	40	1.9%	▲8	▲0.4%	-	90	2.0%	16	0.4%	-
	豪亜	150	7.0%	165	9.0%	▲8.8%	345	7.6%	367	9.3%	▲6.0%
	消去	▲5	-	2	-	-	▲10	-	▲12	-	-
	合計	1,280	7.8%	1,197	7.9%	+6.9%	2,820	8.3%	2,666	8.4%	+5.8%



2010 長期構想

2010 長期構想

1. DENSO VISION 2015

2. 長期構想の概要

3. 重点項目

4. 資本政策

5. 2010年到達点

1. DENSO VISION 2015

DENSO VISION 2015（2004年4月発表）

【ビジョンに込めた想い】

- ・ 先進的なクルマ社会創造への貢献
- ・ 真のグローバル企業への進化

【目指す姿】

“やさしさ” と “うれしさ” を世界の人々へ

【行動指針】

デンソースピリット

先進

信頼

総智・総力

2. 長期構想の概要： 2015年に目指すグループ像

VISION 2015

“やさしさ” と
“うれしさ” を
世界の人々へ

(想い)

先進的なクルマ社会
創造への貢献

真のグローバル企業
への進化

< グローバル・エクセレント・カンパニーにふさわしい経営の実践 >

● クルマ社会発展のリーダーシップ

世界初・世界一の商品を次々と提案・開発し、持続的成長を通じ
社会・顧客の発展や業界の繁栄に貢献している。

● 世界各地域でのプレゼンス

世界中のお客様に喜ばれる商品を提供し、
グローバルにバランスのとれた収益構造を実現している。

● 信頼される企業行動

「経済(業績)」に加えて、「環境」「社会」面でも責任を果たし、
あらゆるステークホルダーから信頼されている。

● 世界の知恵で進化

グループ10万人の能力のフル発揮により進化を続ける
とともに、地域の自律を達成している。

2. 長期構想の概要： 2010年の到達目標レベル

先進的なクルマ社会創造への貢献

商品開発

- ・ 市場の2極化（高機能化・低コスト化）に 対応した商品開発の実施
- ・ システムとコンポーネント双方での新たな価値（世界初・世界一）の提供

新規事業開発

- ・ 市販・非自動車分野を、デンソーの成長を支える柱の一つとして確立
- ・ 新たな事業分野の芽づくり

モノづくり

- ・ 品質の更なる向上により、“お客様迷惑ゼロ” を実現
- ・ 世界の各拠点における 地域No. 1 QCDの実現と活気あふれる生産現場づくり

2. 長期構想の概要： 2010年の到達目標レベル

真のグローバル企業への進化

事業運営

- ・ 海外人材の知恵を活かし、世界各極における開発・設計の実施
- ・ グローバル生産の適切な集中・分散により、為替変動に強い事業構造を実現

グループ経営

- ・ 世界トップクラスのCSR先進企業に向け、DNらしさを発揮した活動の実践
- ・ 機能の横串強化と地域視点の付加を通じ、グループ会社の自律化を促進

人づくり

- ・ DN流の価値観と仕事地域に根つき、自律的なPDCAを実現
- ・ 多様な人材が知恵・能力をフルに発揮できる職場・風土づくり

3. 重点項目： **商品開発**

重点4分野(環境、安全、快適、利便)における革新的な
コンポーネント/システムの開発の推進

- ・ 新技術・機能をもった “世界初商品” の創出を加速
 - ・ “世界一商品” の拡大
- ⇒ 2010年までの成長の 2/3 を世界初+世界一で牽引

環境

(地球に対して優しいクルマ)

ハイブリッド、コモンレール、
CO2エアコン、エジェクタ 等

安全

(事故のないクルマ)

衝突予防・回避

→ レーザ、ミリ波センサ、レーンキーピング、
プリクラッシュ)、 リモートセキュリティ

利便

(使い勝手のよいHMIシステム)

次世代ETC、次世代ナビ、ドライバーアシスト等

快適

(疲れずに運転できるクルマ)

マルチ空調、熱マネジメント 等

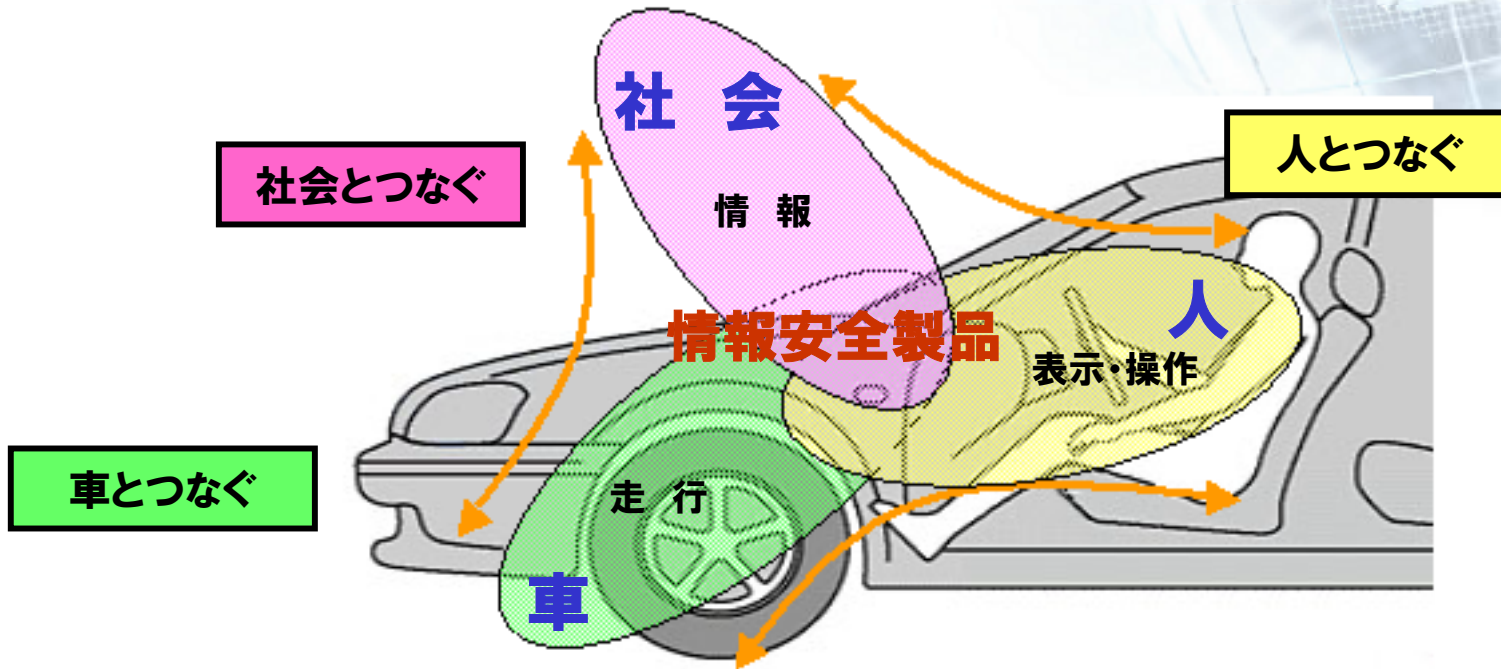
HMI: Human/Machine Interface

3. 重点項目：商品開発

安全分野における
基本的な考え方

<事業G再編(06年1月~)>

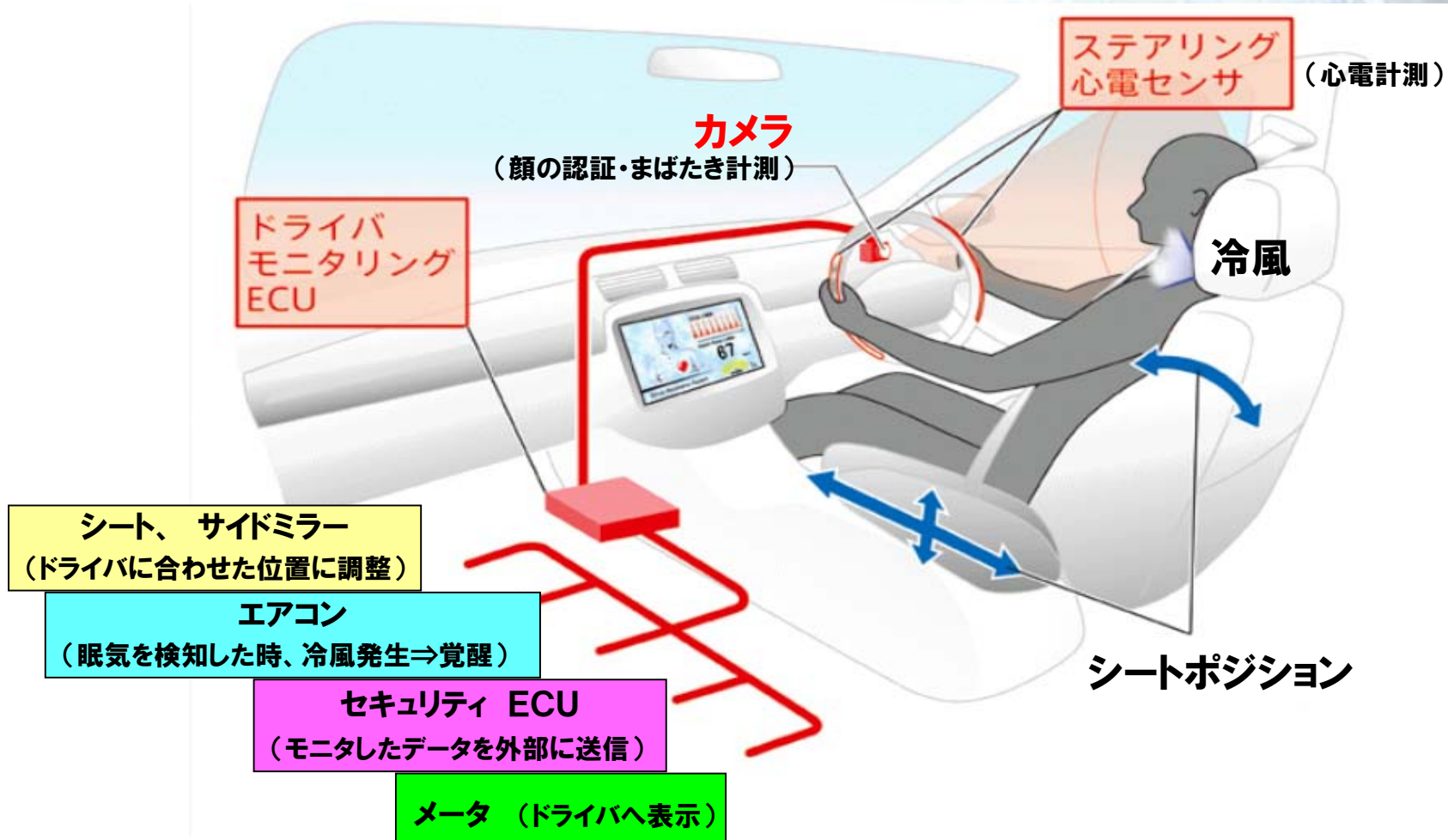
ITS ボデー 走行安全 3事業部を「情報安全G」
として統合し、システム開発力を強化



人・車・社会をつなぐ商品・サービス開発を通じて新たな価値を提供
新たな価値＝運転支援領域での「やさしさ(安全・安心)」と「うれしさ(利便)」

3. 重点項目：商品開発

人とつなぐ ⇒ ドライバ アシスタンスシステム



3. 重点項目： **商品開発**

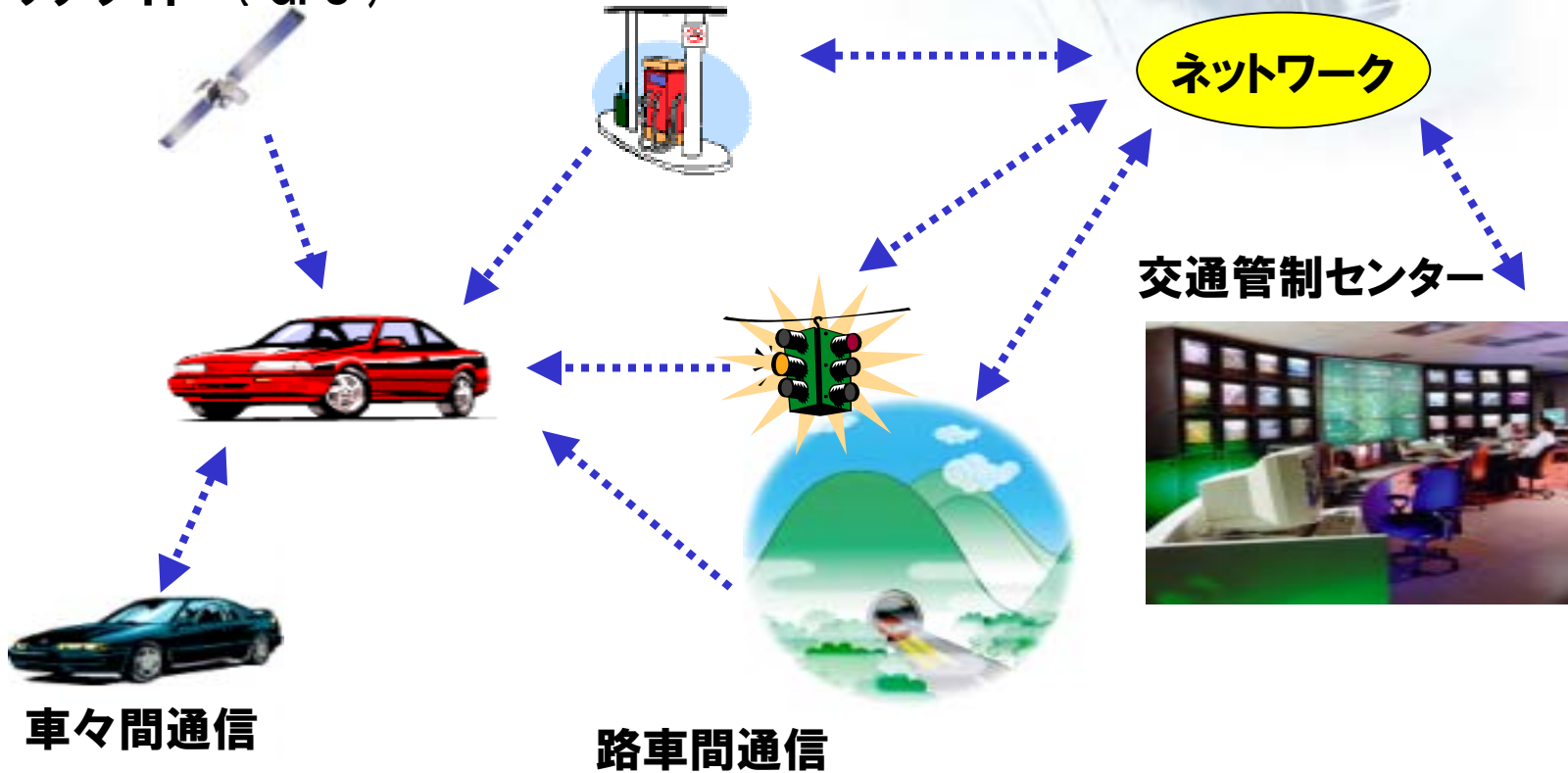
社会とつなぐ ⇒ インフラ協調安全システム

グローバル ポジショニング
衛星 (GPS)

通信ホットスポット

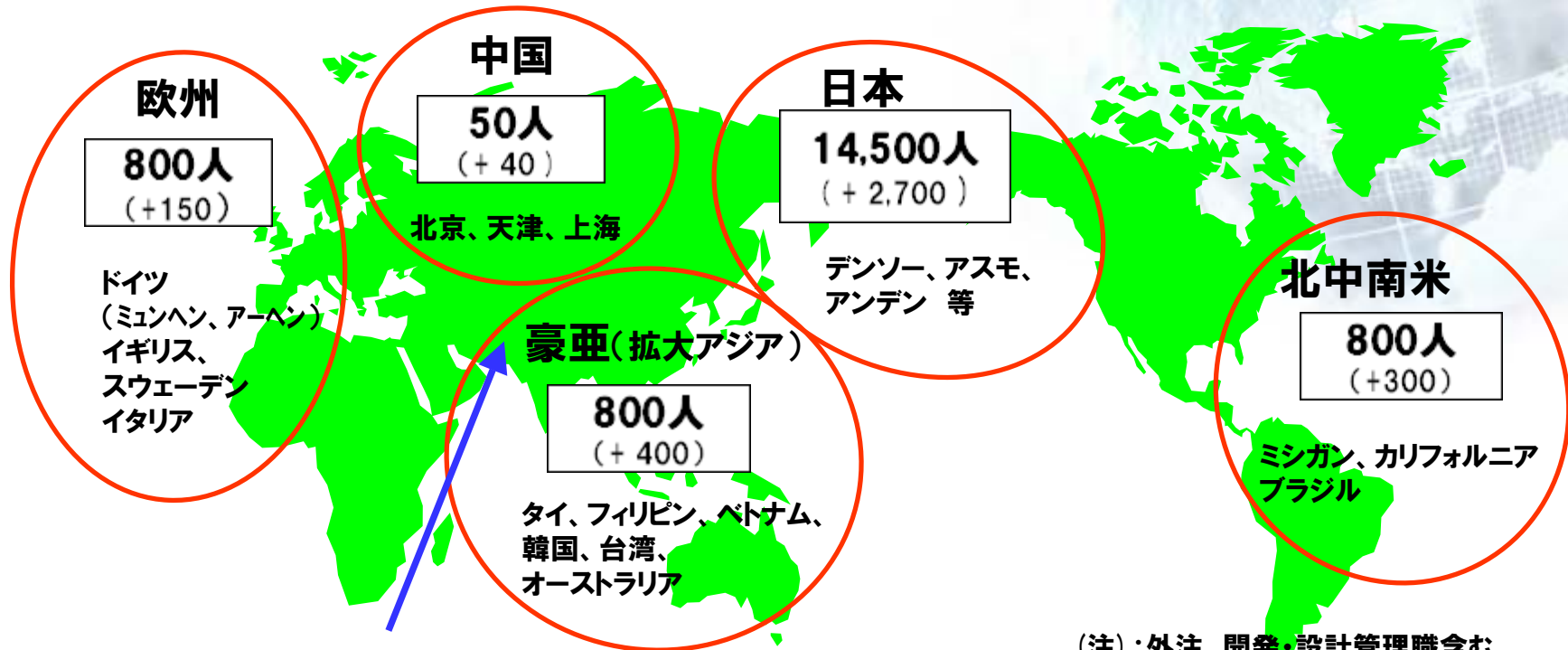
ネットワーク

交通管制センター



3. 重点項目：事業運営 — 開発・設計体制の構築

2010年時点での技術者数（増加は2004年比）



米・欧に加え、アジア／中国にテクセンを設立

(注)：外注、開発・設計管理職含む

現地対応力を強化し、アプリ設計現地化100%を目指す

アプリ設計	04年	10年	15年
現地化比率	40%	60%	100%

3. 重点項目: **グループ経営 — CSR活動**

(CSR = Corporate Social Responsibility: 企業の社会的責任)

- ・社会の持続的な発展への貢献を通じて、DNグループの持続的な成長を実現
- ・経済面（業績）に加え、環境・社会面でもDNの強みを発揮し、バランスよく責任を果たす

【フレームワーク】



3. 重点項目： **グループ経営 — CSR活動**

(CSR = Corporate Social Responsibility: 企業の社会的責任)

- ・「環境保全」・「社会貢献」・「社員尊重」を重点分野として、全世界のDNグループが一体となった活動を展開
- ・ CSRの基盤となる「コンプライアンス」を、DNグループ10万人一人ひとりに浸透・定着

【活動内容の例】

分野	施策
環境保全	自動車産業の優先課題である温暖化防止 (CO2削減) をグループ挙げて推進 - 企業行動全般 (技術開発・工場運営・社員行動) での活動 -
社会貢献	事業活動を行うあらゆる地域で、コミュニティに根づいた活動推進 - 障がい者福祉・青少年育成・環境共生をグループ共通テーマに活動 -
社員尊重	世界各地の事業運営を支える、多様な人材の活躍推進 - 女性・高年者・障がい者・現地人材が活躍する職場・風土づくり -
コンプライアンス	DNグループ共通のコンプライアンスプログラムを徹底推進 - 「社員行動指針」の浸透、職場リーダー設置、モニタリング (通報制度等) 導入 -

4. 資本政策

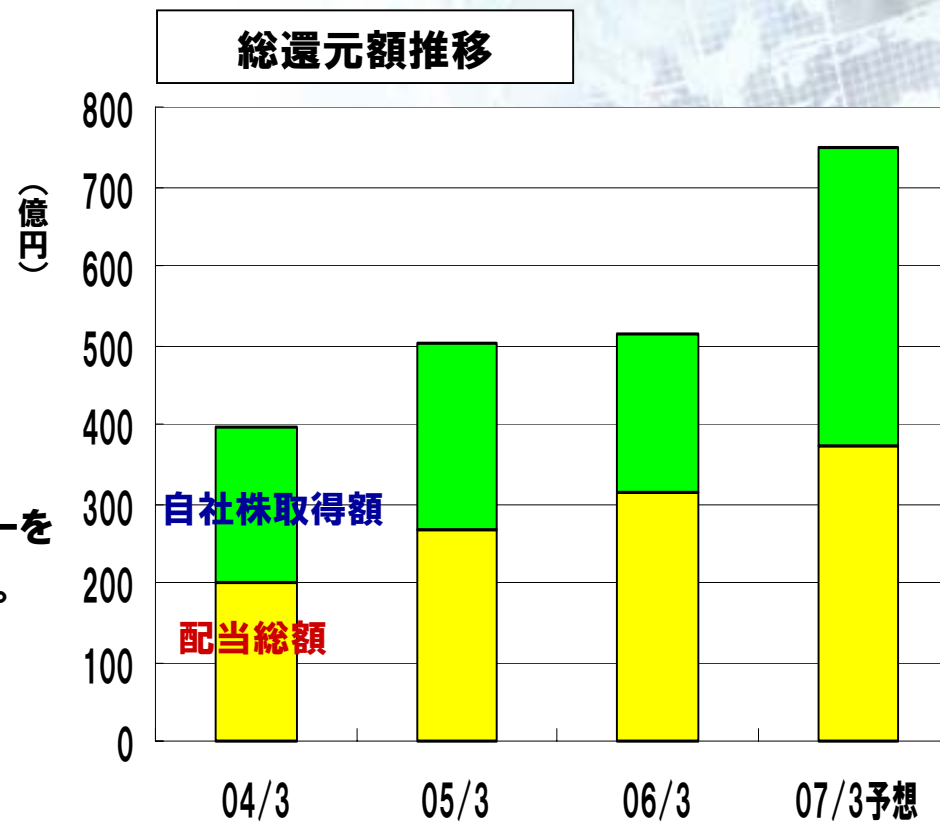
株主還元策

1. 配当

連結業績を勘案しながら
着実に増配を実施

2. 自社株取得

株主価値向上を狙い、キャッシュフローを
勘案し、適切に自社株式取得を実施。



5. 2010年到達点

【 2005年 】

【 2010年 】

世界車両生産

6,570 万台

→
3%/年

7,700 万台

売上高

3兆 1,883 億円

→
5%/年

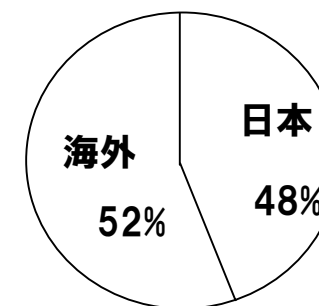
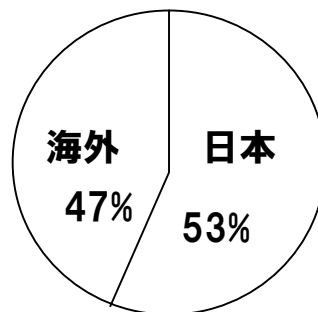
4 兆 円 超

ROE

9.4 %

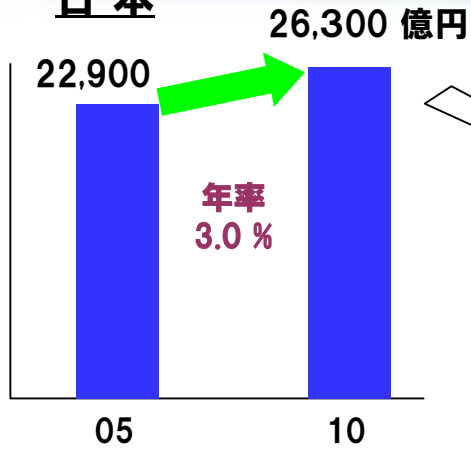
10 %

(参考)
売上内訳



【参考】地域別売上高

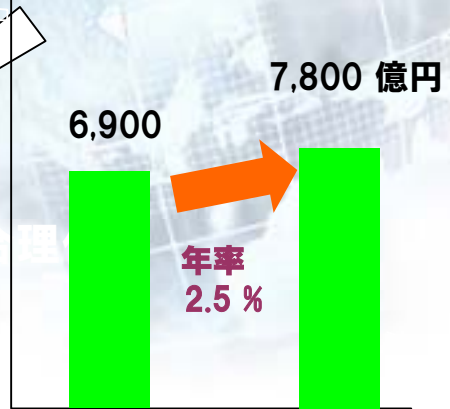
日本



05 10
車両 1,070 → 1,110 万台
+ 0.7% (年率)

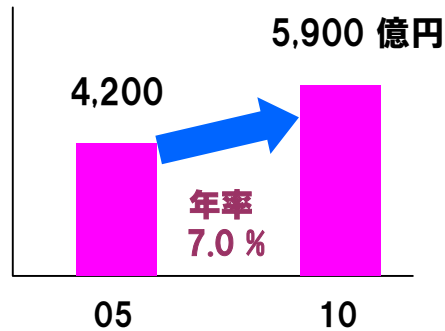
※参考 連結消去:
2005 → 6,000 億円
2010 → 6,800 億円

北中南米



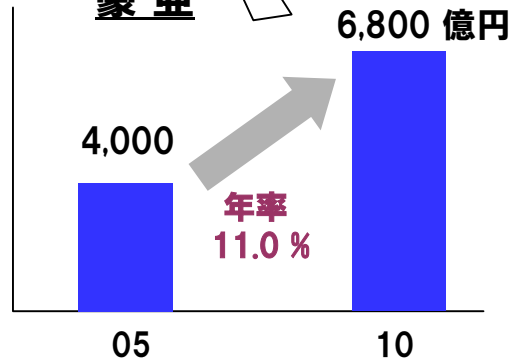
車両 1,830 → 2,040 万台
+ 2.2% (年率)

欧州



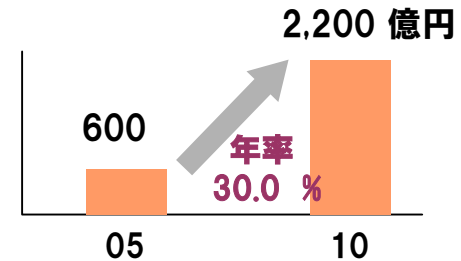
05 10
車両 2,100 → 2,400 万台
+ 2.7% (年率)

豪亜



05 10
車両 1,570 → 2,150 万台
+ 6.5% (年率)

(うち中国)



05 10
車両 540 → 1,040 万台
+ 14.0% (年率)